

## 【年頭のご挨拶】

## 夢に向かって挑戦を

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

コロナが収束し、昨年はフル回転の1年だったように思います。4月、7月、10月と新入生が入学してくるたびに教室がいっぱいになりました。外国で自由に募集活動ができるようになり、校内の全てのイベントも復活しました。にぎやかな学生たちの声があちらこちらから聞こえてきます。これらの光景を目にするたび、私は涙が出るほど幸せを感じました。

昨年、米大リーグで大谷翔平が10年総額7億ドルという歴史的な契約を結びました。数年前、大谷の二刀流への挑戦を「とても無理」と否定していた人たちは、今、どう思っているでしょう。昔の世代が最初から諦めていたような夢を、彼は当たり前前の目標として達成し、今も挑戦し続けています。

私は、JETの学生や教職員の若者たちに夢を持ってほしいと思っています。若者の飛躍から学び、彼らを支え、応援してゆきたいと考えています。そして学校は彼らとともに、新しいステージへと挑戦し続けます。

今年はずいぶん、自分の心の奥底に秘めた夢に向かって、一歩踏み出してみてください。

最後になりますが、全ての皆様にとって恵み多き年になりますことを祈念して私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

校長 山口 閑子

## 10月生 52名入学で定員に

今学期、52名の新入生が入学しました。10月4日に入学式を行い、その後の歓迎会では軽食をとりながら談笑したり、ゲームをしたりして親睦を深めました。

10月5日には進学クラス3、日本語クラス6の計9クラス編成で授業がスタートしました。台湾、香港、マカオ、韓国、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、スイス、イスラエル、ネパール、バングラデシュといった様々な国から学生が集まり、コロナ禍以後、久々に150名の定員を満たしました。



## みんなの大忘年会!

12月22日、滝野川西ふれあい館で、毎年恒例の大忘年会を行いました。2022年、3年ぶりに対面で行いましたが、今回は13人の大学生を迎え、総勢172人が一堂に会した年内最後のイベントにふさわしいにぎやかな会となりました。

## 4年ぶりに料理が復活!

まず、司会を務める8人の学生たち(台湾、マレーシア、インドネシア、タイ)がご挨拶。緊張しながらも、一生懸命頑張ってくれました。

これまでコロナの感染状況を鑑み中止となっていた食事が4年ぶりに復活しました。各クラスで作った料理を持ち寄り、一緒に食べます。やはり一緒に食事ができるのはいいものですね。



## 「特技披露」の時間も

食事が終わってからは、学生による特技披露の時間です。トップバッターはBクラスのダンサーたち。途中で有志が加わって大人数で踊り出すサプライズも。会場を沸かせました。

ギターの演奏と歌、バンド、サクソの演奏と、教室では見えない才能を遺憾なく発揮した学生たち。会場は大きな拍手と感動に包まれました。

## 後半はゲーム&amp;ビンゴ大会

会場が一体感に包まれたところで、Aクラスがルールを考案したJET版「だるまさんがころんだ」です。鬼役はAクラスの関力恒さん(香港)。「だるまさんが…」の掛け声と同時に一斉に走り出す学生たちと先生(!)。ゴールライン目がけ、我先にと走る姿に会場からは笑い声。

→ゲーム中の一場面。  
エアウトですか?



会も終わりに近づき、最後はビンゴ大会です。後援会からのご支援もあり、豪華な景品が並びました。1等は東京ディズニーリゾートのチケットです。今年は「びっくり賞」(校長先生とのお食事券)もあり、会場は最後まで大盛り上がりでした。

大忘年会は、毎年企画段階から学生たちが参加し、みんなで作り上げています。今回も学生たちが主役の素敵な会になりました。(山下)

## 前期卒業式 12名に修了証書

9月15日に日本語コース(基礎科)の前期課程が終了し、12名に修了証書が授与されました。証書は各教室にて、山口校長から手渡されました。

前期の卒業式は、後期(3月)の厳かな式典とは違い、思い出の詰まった教室で行われます。和やかな雰囲気の中、クラスメートに祝福されながら巣立っていきました。

\* \* \* \* \*

### 皆勤賞に台湾の学生

同日、皆勤賞の学生の表彰も行われ、1年無遅刻無欠席の鍾易蓁さん(台湾)が表彰されました。副賞として後援会から図書カードが贈られました。

\* \* \* \* \*

### 漢字パーフェクト賞

中～上級の学生を対象とした漢字クラスでは、各学期「進級テスト」と「期末テスト」を実施しています。鍾易蓁さん(台湾)は、これら全てのテストを満点で合格するという快挙を成し遂げました。この素晴らしい努力の成果をたたえ、漢字パーフェクト賞が授与されました。副賞として後援会から金一封とお菓子が贈られました。

「漢字クラスの全部のテストで満点を取るという目標が達成できました！」と満面の笑みで語った鍾さん。皆勤賞とのW受賞となりました。

→  
鍾さんの表彰式。  
「すごい！」と感嘆の声が。  
見守るクラスメートからは



\* \* \* \* \*

### 6名が日本で就職

9月に卒業した学生のうち、6名は日本での就職が決まっています。航空会社、IT会社、不動産会社、旅行会社、製造業と、各自希望する業種で内定を得ることができました。10月からは社会人としての生活が始まっています。

卒業生の皆さんの今後のご活躍を心から祈っています。

### 入管による教育機関選定結果

2023年10月、JETは東京出入国在留管理局により、「適正校(クラスI)」に選定されました。2022年10月には「在籍管理優良校」に選定されていましたが、同じ格付けです。

「適正校」は「クラスI」と「クラスII」に分けられており、不法滞在者などの問題在籍率が3年間連続して1%以下で、3年連続して「適正校」であるなどの条件を満たすと、「クラスI」に選定されます。

### <就職関連>

## 後期就職セミナー開講

今学期も日本での就職希望者を対象とした校内就職セミナーを開講しました。10月23日にガイダンスを行って参加希望者を募った後、11月13日と20日に(株)ASIA Linkから講師の先生をお招きして自己分析などを行い、履歴書作成や面接の準備を進めました。12月4日と6日には、奥山信也先生による模擬面接を行いました。



今学期の就職セミナーの参加者は、台湾、香港、マカオ、インドネシア出身の12名でした。

緊張の模擬面接！時には厳しい指摘も。↑

★ ★ ★ ★ ★

## 企業経営者との意見交換会

12月11日には、就職支援セミナー(全5回)の最終回として、東京商工会議所北支部きた経営塾の方々と意見交換会をおこないました。自らの事業と合わせて地元北区の発展のために日々貢献されている社長さんたちです。佐藤塾長(株)玉越工業)始め4名が来校され、学生12名と膝つき合わせて1時間半みっちりご指導くださいました。

始まる前はみな緊張していましたが「本当に楽しくておもしろかった」「お忙しいのに学校に来て教えてくださって感謝しています」「心を込めて答えてくださって理解が深まった」「本当に貴重な機会。親切で私たちの疑問や困難を心から受け止めてくださった」「広い視点のアドバイスをいただいて自分の思い込みが変わりました」と、感謝の声があがりました。

同時に日本語能力をもっと磨いて相手の話を理解し、自分のことをどのように伝えるか、大きな課題もいただきました。それを受け、「やはり日本語能力は経営者にとって一番大事というか、外国人採用の大前提だと思った」と強く感じた学生もいたようです。



↑社長さんたちと。  
みんな素敵な笑顔で、楽しかったことが伝わってきます。

すでに奥山信也先生のご指導で履歴書を書き上げたところですが、就職活動はこれから、です。気張っていきましょう。(得猪)

## &lt;進学関連&gt;

**大学院志望者の研究計画発表会**

11月27日、進学科の大学院志望者のために、「第2回研究計画発表会」を実施しました。7月の第1回同様、10名が発表しました。さらに今回は、来年度に進学科へ進む大学院志望の5名の学生も聴講しました。

教室には10名もの先生方が居並び、緊張感が漂う中、一人ずつ発表しました。先生からの質問に緊張や準備不足でうまく答えられない学生もいましたが、学生同士の質問もあり、とても良い雰囲気でした。

聴講していた学生は、先輩の発表を見て刺激を受けていました。初級クラスの学生にとっては日本語が難しかったようですが、辞書で言葉を調べながら必死に発表を理解しようとしていました。発表会の後には、「素晴らしかった。来年頑張ります。」と目を輝かせて話していました。しっかりと受け継いでいってほしいですね。

研究計画を何度も書き直し、更に内容を深めた学生もいれば、第1回から研究テーマを変更した学生もいましたが、あくなき探究心で自分のやりたいテーマと真剣に向き合い、今後も貪欲に研究を続けていってください。(石津)

**大東文化大学教授による出張授業**

昨年度に引き続き、大東文化大学より経営学部長の高沢修一先生をお迎えして経営学の講義を2日に渡りお願いしました。9月19日は進学クラスの文系学生対象、翌20日は理系学生と大学院志望の学生対象の授業でした。

高沢先生には連日の講義を快くお引き受けくださり、内容も聞き手に合わせて組み立てていただきました。

先生からはそれぞれの日で学生の反応が違い、楽しく講義ができたとの感想をいただきました。学生は緊張しながらも、貴重な機会を活かそうと積極的に質問する様子も見られ、大学の授業への期待が膨らんだようです。(木村)

**日本事情 4 講座開講**

2023年度後期の日本事情の授業は、①「発音クリニック」(木村先生)、②「続・エチュード」(永田先生)、③「ドラマの中へ」(中馬先生)、④「いろいろ講座」の4講座です。それぞれ全5回、計10時間のカリキュラムとなっています。

④は毎回担当教師と授業内容が変わる、まさに彩り豊かな講座です。今回は、折り紙&風呂敷講座(木村先生)、茶道体験(得猪先生)、漫画・動画を使った効果音講座(草塩先生)、ラップ講座(石津先生)、料理教室(山下先生)というラインナップでした。



↑④「いろいろ講座」

最終日は学校で料理教室！お雑煮を作りました。

**Let's 漫才!****教室に漫才師が来た!**

12月11日、漫才師のフランポネさん、ピン芸人の藤田ゆみさんをお招きし、DクラスとEクラスで漫才をテーマに授業をしていただきました。まずは基本的な漫才の知識を教えてください、その後ペアでネタを考えて発表。「はい、どうも〜!」と、恥ずかしがりながらも、とても元気にお決まりの挨拶をしていました。授業後は「難しかったけど面白かった」とニコニコ語る参加者たち。自己紹介やコンビ名からユーモアに富んだものが多く、学生たちのセンスを感じる、笑いの絶えない一日でした。

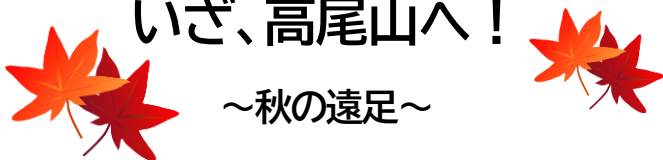
**学習院大学から教育実習生**

今年度も学習院大学から教育実習生を受け入れました。渡邊早也香さん、鈴木瑛理奈さんの2名です。実習は10月16日から27日までの2週間で、初級のHクラスとIクラスでそれぞれ登壇実習を行いました。

**インターンの受け入れ**

10月5日より、東京女子大学の学生1名をインターンとして受け入れています。これからタイでの日本語教育に携わる予定です。

## いざ、高尾山へ！



~秋の遠足~

10月13日、秋の遠足で高尾山に行ってきました！高尾山への遠足は2006年以来です。快晴で、秋風が心地よい遠足日和となりました。紅葉は色づき始めたくらいでしたが、老若男女大勢の登山客が訪れていました。

登りはケーブルカーやリフトを使い、頂上を目指しました。ケーブルカーは日本一の急勾配で学生たちも興味津々。一方、リフトは風が吹くと揺れて、スリルがありました。

郷野先生作成の素敵な遠足のしおりを片手に、クイズを解いたりチェックポイントの写真を撮ったりして、みんなで楽しみながら山道を歩きました。薬王院では、受験を控えた進学科の学生たちがお守りを買って、合格祈願をしていました。

無事に全員が頂上まで登りきったところで、記念撮影！

下りは吊り橋が見えるコースや、滝があるコース等、行きとは違うコースを各々が自由に選びました。

遠足の目的は「新しいクラスの友達と親睦を深めて、日本の文化や自然に触れること」ですが、みんなクラスの垣根を越えて声をかけ合い、助け合っていました。山登りを通じて様々な交流が生まれ、絆も深まった遠足となったのではないのでしょうか。(石津)



## ○文楽鑑賞教室

12月6日、学生11名が、シアター1010(北千住)で行われた文楽鑑賞教室に行きました。演目は「傾城恋美脚 新口村の段」。文楽を観るのは全員初めてでしたが、はじめに人形の衣装や表情の演出、太夫の語り分けといった楽しみ方の解説があり、さらに最前列での鑑賞ということで、始まるとすっかり夢中になっていました。

## ○北海道清水町での研修旅行

9月19日から22日までの4日間、北海道清水町での研修旅行に、陳奎睿さんと鐘秋月さん(両名とも台湾)が参加しました。この研修は、清水町と東京都北区が近代の日本経済を支えた渋沢栄一ゆかりの地であること、また「清水」という町が台湾台中市にもあることからご縁につながり実現したもので、今回で2回目となります。

阿部一男町長をはじめ、清水町役場の方々には大変お世話になりました。初日には、十勝開墾会社農場畜舎など、渋沢栄一にまつわる名所をご案内いただきました。二日目には清水神社例大祭の御神輿の担ぎ手を務め、地域の方々と交流しました。三日目と最終日は、学生自身が研修内容を考えた「自主研修」を行い、清水町の自然を満喫し、充実した研修となりました。

参加した両名は、初日こそ緊張した面持ちでしたが、清水町の方々の温かさに触れ、次第に表情もやわらかくなり、その後の研修では取り組みが変わったように感じました。

東京ではできない経験をし、さまざまな気づきがあった4日間だったのではないかと思います。清水町の方々とのご縁を大切に、今後も交流を深めていければと考えています。(山下)



## ○湯河原でのホームステイ

9月28日からの4日間、湯河原町で行われた「第37回 新やさ国際交流プログラム」(ゆがわら国際交流協会主催)に、JETから劉嘉豪さん(香港)と鐘秋月さん(台湾)の2名が参加しました。30日には国際フォーラムが開かれ、7か国8名の参加者が「日本に来た目的」について語りました。また、4年ぶりにホームステイも復活しました。



←国際フォーラムにて

## ○劉さんの感想

「今回のプログラムで、湯河原町の生活を体験しました。ホストファミリーはとても暖かく、家族のように楽しく話しました。日本人の生活習慣を深く理解できたと、何より、自分の国についてもっと知ってもらえたのが嬉しかったです。素敵な経験と思い出ができました。」

## ○鐘さんの感想

「湯河原町で優しい人たちと過ごした時間は楽しかったです。一番印象に残ったのはホストファミリーの葎本さんです。この4日間、ホームステイの日以外もご家族はずっと笑顔でそばにいてくださいました。また、日本のマナーについても教わりました。例えば、かばんは椅子や机の上に置くのではなく、自分の椅子の横に置いたほうが良いということです。ご夫婦と、1歳の可愛い娘さんに感謝しています。」

(郷野)

## よむよむ会で図書館見学

今学期の「よむよむ会」は10月30日にスタートしました。毎週月曜日の午後、自由参加で一人一人が好きな本を読む、多読の時間です。

11月20日には、よむよむ会の一環として、赤羽図書館を訪れました。

また、12月21日にはFクラスが課外活動で北区中央図書館の見学に行きました。

## 【速報】よむよむクイーン、現る！

10月から12月までの3か月で、学校の図書を最も多く借りた学生は、Pornsanuwat Sasikorn さん(タイ)でした。その数なんと117冊！「よむよむクイーン」と言っても過言ではない、見事な読みっぷりでした。

Sasikorn さんは10月に入学した新入生で、12月末でJETでの学習期間が終わりました。そのため、学習証明書と共に、山口校長から「たくさん読んで賞」の賞状が手渡されました。

彼女を越える猛者が現れる日は来るのでしょうか。新たな「よむよむ王者」が誕生するかどうか、今から楽しみです。



## 海外での留学フェア・説明会

コロナの規制も緩和され、海外の留学フェアや説明会に赴く機会も増えてきました。今回はその一部をご紹介します。

### ○日本留学経験が人生に彩り ～マレーシア～

9月8日～12日、ペナンとクアラルンプールを訪れました。今回参加したのは、日本留学経験者のマレーシア人団体(JAGAM)が主催する手作り感満載の日本留学フェアです。スタッフの方々は日本留学が自分の人生にいかに彩りを添えているか体現されていて、温かな説明会でした。スタッフの姿にJETの学生の将来を重ねることができました。(木村)

### ○卒業生との嬉しい再会 ～香港、マカオ、台湾～

9月末から10月中旬にかけて香港、マカオ、台湾に行きました。コロナが収束し、2023年度はフル回転で留学フェアに参加しています。香港、マカオは2回目。台湾は3回目になります。どこに行っても「JETはいい学校ですね」と言われ、嬉しいかぎりです。そして、そこには必ず懐かしい卒業生たちが会いに来てくれます。台湾では、咳が止まらない私のためにたくさんの卒業生が咳止めの飴や漢方薬などを持ってきてくれました。多謝！卒業生！（山口）

# 学 校 日 誌

### 【前期】

- 9月7日 進学科 期末テスト(筆記試験)  
北区日本語教室第2期スタート(8面)
- 9月12日 漢字クラス 期末テスト
- 9月15日 基礎科 卒業式(2面)
- 9月16日、17日 滝野川八幡宮のお祭り(8面)
- 9月19日～22日 北海道清水町研修旅行(4面)
- 9月19日、20日 大東文化大学 出張授業(3面)
- 9月28日～10月1日  
新やっさ国際交流プログラム(4面)
- 9月30日、10月1日 順天高校文化祭(8面)

### 【後期】

- 10月2日 プレースメントテスト
- 10月4日 入学式、新入生歓迎会(1面)
- 10月5日 授業開始
- 10月8日 板橋区ホームビジット(8面)
- 10月10日 漢字クラス プレースメントテスト
- 10月13日 遠足 高尾山(4面)  
早稲田大学の国際交流サークル(WIC)による  
日本教室
- 10月16日～27日 教育実習(学習院大学) (3面)
- 10月22日 早稲田大学ホームカミングデー・稲門祭
- 10月23日 就職ガイダンス
- 10月30日 専門学校志望者へのガイダンス  
後期よむよむ会スタート(5面)
- 11月7日 レントゲン検査
- 11月10日 順天高校 日本語教室(8面)
- 11月12日 日本留学試験(EJU)
- 11月13日 数学・理科予備授業スタート
- 11月13日、20日 就職セミナー(2面)
- 11月17日 進学科合同模試
- 11月19日 大学生の国際交流サークル(SNIE)主催の  
オリンピック(運動会)
- 11月20日 赤羽図書館見学(5面)
- 11月26日 滝野川町内餅つき大会(8面)
- 11月27日 第二回研究計画発表会(3面)
- 11月30日 桜川小との交流会(Gクラス) (8面)
- 12月3日 日本語能力試験(JLPT)
- 12月4日、6日 就職セミナー(模擬面接) (2面)
- 12月8日 避難訓練(7面)
- 12月11日 漫才 出前授業(D・Eクラス) (3面)  
企業経営者との意見交換会(2面)
- 12月12日 漢字クラス・進級テスト
- 12月13日 模擬面接(専門学校志望者)
- 12月20日 春の補講・特別授業についての説明会
- 12月21日 北区中央図書館見学(Fクラス) (5面)
- 12月22日 大忘年会(1面)

# 日本留学 30 年の物語

## 恩師金美齡と再会、後輩たちを激励

得猪 節子

### ◆「ここは日本の実家」

#### 一里帰りしたくなる母校

「先生、こんにちは！」

3年にわたるコロナ禍が落ち着き、入国制限が緩和されてから JET 日本語学校にはほぼ毎日のように卒業生が訪れます。

ひとりで、家族と、友達を連れて。1988年創立ですから、卒業したばかりの者から 30 数年前の卒業生まで、年代も広い。JET 日本語学校の名物風景かもしれません。

金美齡名誉理事長が初代校長であった当時から、卒業する学生たちに「ここはあなたたちの日本の実家だから、うれしいことがあったら、そしてたいへんなことがあってもどうぞ JET を訪ねてきてください」と言って送り出していました。

また帰りたくなる母校であるなら、教職員にとってこれ以上うれしいことはありません。

最近、里帰りしたのは崔曉倩さん(1992年3月卒)。現在台湾の国立中正大学経済学系教授主任を務める崔さんは、研究活動で来日し、その合間に母校を訪ねてくれたのでした。

休み時間に廊下にいる後輩の台湾学生たちと一気に距離を縮め、激励しています。

実は崔さん、この来日にあたってどうしても会いたかったのは恩師金美齡先生でした。

### ◆学生結婚、子育て、研究。

#### 「天は自ら助くる者を助く」

ときはさかのぼります。

日本語の全くできなかった崔さんが、婚約者、呉俊賢さん(JET 日本語学校 1992 年卒)を追って JET に入学したのは 30 余年前。まもなく結婚を決めた頃、金美齡校長(当時)が「日本でも皆に報告したほうがいいよ。わたしの家を貸してあげるから料理を作って友達を呼んで」と助言し、金先生宅で 30 人以上の人を呼んで報告会をしたのでした。

その後、夫婦で筑波大学大学院の合格通知を受け取ったのと同時に子どもを授かったことがわかります。

研究か、子どもか。悩みに悩んで金先生に相談したところ、「両方ともやってみたら。だめだったら休学すればいい」とのお答え。

実は、留学生だった金先生自身も学生結婚で、早稲田大学大学院時代にお子さんを 2 人授かり、スーパーウーマンになる決心をして両立させた実体験から、若き台湾人夫婦を応援したのでした。

JET の卒業式で二人は皆の前で両立宣言をし、もう前へ進むしかありませんでした。



金美齡先生宅で結婚報告会(1991年1月)。立っているのが呉俊賢さん。

筑波大学大学院時代は二人力合わせて子育てと研究の疾風怒涛の日々。

周英明・金美齡先生夫妻の推薦により、ロータリークラブの米山奨学生にも選ばれ、夫婦共々見事博士学位を取得することができました。2人の子どもたちも元気に成長しました。

金先生がいつも口にする「天は自ら助くる者を助く」(JET 日本語学校の校訓)はくじけそうになった時の「薬」になっているそうです。



金美齡先生宅にて。後列左から呉俊賢さん、崔曉倩さん。前列中央の級友、郭仁光さん(マレーシア)とは今も交流がある。

### ◆台湾と日本の架け橋として

崔曉倩さんは高齢化社会の研究のため東京大学、東北大学と連携したり、地方創生の研究では日本各地を訪ねます。

今回の来日も約 1 か月にわたり、茨城県笠間市に滞在して市長と懇談しました。

一方、呉俊賢さんも現在、環球科技大学(台湾)で教鞭をとり、地場産業研究の著書も数冊書いています。また、明治大学や小山台教育財団との学术交流で毎年大学院生を連れて来日しています。

夫婦ともども台湾と日本の架け橋になっています。

## ◆恩師金美齢を訪ねる

### —30年後の幸福な風景

光陰矢の如し。

JET卒業から30余年を経て2023年1月下旬、夫婦そろって金美齢名誉理事長を訪ねました。

当時50代の金先生は、御年89歳。20代の留学生夫婦は今や50代。

ずっと願っていた、ゆっくり直接お礼を申し上げる機会がついに実現したのです。

恩師とおいしいものを食べながら語らう特別な時間。

日本留学しなければ、そして何より金先生との出会いがなかったらどんな人生を送っていたのでしょうか。

崔さんは「(夫の)呉さんは日本語専攻だから、もちろん日本がよかった。わたしは元々アメリカへ行くつもりだったけど、日本に来てJETで一から勉強し、充実した学生生活ができてほんとうにありがたかった。JETでの出会いが人生を変えた」と語ります。

「とにかく目標をもってがんばることが大切。目標があれば、未来への戸惑いもきっと消えて、日本の留学生生活を満喫できますよ」かつて金先生が崔さんたちを励ましたように、若い後輩たちに呼びかけます。



恩師と30余年ぶりの会食。左から崔曉倩さん、金美齢先生、呉俊賢さん。

この記事は「進路新聞台湾版」(2023年特別版)に中国語で掲載されたものです。

## 避難訓練実施

12月8日、避難訓練を実施しました。今学期の訓練では、避難経路や緊急時の集合場所だけでなく、校内に設置してある避難器具の使い方も確認しました。

## 休日の教室に会話の花

### 全国の日本人大学生と交流

12月9日～10日、JR赤羽駅高架下のビーンズテラスで「キタテラスマルシェ」が開催されました。北区の事業者や北区にご縁のある方が集まって、ワークショップや物販、ステージなどを行うイベントです。

10日、このイベントのために、東京をはじめ山形や広島、愛知など全国各地から集まった大学生20名を山口校長がJETに招き、交流会を行いました。

この日は日曜日でしたが、JETからは16名が参加。日本人とたくさん話したいという意欲的な学生たちが集まり、会話に花を咲かせました。



参加した学生は、「こんなにたくさんの日本人と話すのは初めてです。日本人の友達ができただけのも初めてで、とてもうれしいです。」「また次もあれば、絶対に参加します!」と喜んでいました。



## 越野理事長が銀行のポスターに!



東京商工会議所北支部会長も務める越野充博理事長が、東京・北区に本部を置く城北信用金庫/JSPパートナーズの広告ポスターに登場しました。まさに北区の「顔」ですね。

# 学校へ行こう!

## ○桜川小学校との交流会

11月30日、Gクラスの学生20名が板橋区立桜川小学校を訪問し、5年生約100名と交流しました。今年度はマスクの着用が任意となったこともあり、例年以上に喜びや熱気が直に感じられました。会の終わりには子どもたちから素敵なお土産が。日本文化について丁寧に書かれた冊子をもらった学生たち。帰り道、「この本を見るたびに今日を思い出しましょう」と、大切そうに眺めていました。(郷野)



## ○順天高校との交流

<北斗祭>

6月と7月に行った順天高校(北区)との交流会がご縁で、9月30日には4人の学生が同校の北斗祭(文化祭)に特別招待され、とてもラッキーな経験ができました。

<日本語教室>

11月10日、順天高校生による日本語教室に15名の学生が参加しました。前期に続き、JETの学生たちが高校にお邪魔し、楽しく交流をしました。高校生たちは、企画の段階から留学生の意見を聞き、準備をしてくれました。トランプで場を和ませたあと、茶道や書道の体験をし、その後、30分間のフリートークタイム。アニメやゲームの話がでると叫び声が聞こえてくるほど盛り上がっていました。

(山口)

## 北区日本語教室 第二期スタート

北区日本語教室の今年度第二期がスタートしました。木曜日クラスは9月7日、火曜日クラス(初心者・経験者クラス)は9月12日からです。

それぞれ募集枠が15人のところ、約2倍の応募がありました。授業では、いつも近所の美味しいお店やきれいな公園を紹介しあうなど、地域性に富んだ話で盛り上がっています!

今期もJETの教師陣が授業を担当しています。(山口)

# 地域との交流

## ○滝野川八幡宮のお祭り

9月16日と17日、いつもお世話になっている金子さん(シェアハウス金子屋オーナー)から滝野川八幡宮のお祭りのお誘いを受け、15人の学生たちがお神輿を担ぎに行きました。滝野川上町の神輿は大正時代に作られたもので八棟造の大変立派なお神輿です。とても暑い日で、終わったあとはみんなヨロヨロでしたが、貴重な体験をすることができ、大満足の笑顔でした。(山口)



## ○滝野川町内餅つき大会



↑ グラちゃんと山口校長

11月26日、9月のお祭りに続き、町内の餅つき大会に参加させていただきました。初めての餅つきは、杵がうまく持ち上がらず、なかなか粘り気のある餅になりません。最後は、80歳のベテランの方に手伝っていただき、伸び〜るお餅になりました。ゆるキャラのグラちゃん(JETに在籍?)も参加して、子どもたちと美味しくいただきました。(山口)

## ○板橋区 ホームビジット

10月8日、板橋区文化・国際交流財団主催の「留学生ホームビジット」に、何柏翰さん(台湾)が参加しました。「短い時間でしたが、今回のホームビジットはとても楽しかったです。面白かったのは、おばあさんが英国の文化について話しながら茶道を教えてくださいましたこと!笑いの中で茶道の知識を学びました。次に、人生ゲームで遊びました。最後に、『たこパ』をしました。初めてたこ焼きを作って、面白くて、感動で涙が出ました。このようなイベントに参加する機会をいただき、ありがとうございます。」(郷野)

